教育原理	１年　　後期 卒選　幼必　保必	講義２単位	担当教員名	小 松　督 記

授業のテーマ及び到達目標

① テーマ　：人間の発達的理解、教育の歴史的理解、日本・諸外国の学校制度理解及び教育の現代的課題を考える。

② 目標　　１　教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて理解する。
　　２　教育の思想と歴史、教育に関する基礎的な理論について理解する。
　　３　日本や諸外国の教育の制度等について理解する。
　　４　生涯学習社会における教育の現状と課題について考える。

授業の概要

人間の生涯発達における教育の意義・目的、「子ども観」・「教育観」の変遷や日本・諸外国の教育の歴史・現在、教育制度、現代の教育課題、子どもの教育に携わる者としてのあり方等について理解を深める。教育に関する全般的な事柄の理解、そして、「教育とは何か」について深く考える。

授業計画

コマ(回)	項　　目		内　　容
1	Ⅰ 子どもの教育の基礎理論	教育とは何か	○人間形成と教育　○発達過程と個性を配慮した子どもの教育
			○子どもの福祉としての教育
2		子どもの教育の今日的課題	○「生きる力」をめぐって　○基本的信頼関係と基本的生活習慣を捉え直す
3		家庭教育	○家庭教育の機能　○家庭教育を支える法制度　○家庭教育の現状と課題
4		学校教育	○学校教育の機能　○学校教育の法制度
5			○学校教育の現状と課題
6		社会教育と生涯学習	○社会教育と生涯学習の概念と機能　○社会教育と生涯学習の法制度 ○社会教育・生涯学習の現状と課題
7		カリキュラム	○カリキュラムとは何か　○カリキュラムの類型　○教育の方法 ○カリキュラム開発
8	Ⅱ 子どもの教育の歴史と現在	子ども観と教育観の変遷	○古代・中世の子ども観・教育観 ○近代の子どもの発見と教育可能性と権利主体としての子ども
9		世界の子どもの教育の歴史と現在	○学校の誕生とその歩み　○公教育制度としての学校の誕生とその普及 ○現代の世界の学校
10		日本の子どもの教育の歴史と現在	○日本の教育の源流　○日本の近代学校制度
11			○大正期の新教育運動と昭和初期の教育　○戦後の復興と教育制度の再構築
12	Ⅲ 子どもの教育のこれから	幼児期の科学教育	○子どもがもつ高度な知識や思考　○幼児期の科学教育の方策
13		子どもの教育とマネジメント	○教育の経営学　○子どもの教育と評価 ○ＰＤＣＡサイクルと子どもの教育マネジメントのこれから
14		子どもと教育専門職	○人は人から学ぶ　○人は人と学ぶ
15			○社会に生きる教育専門職

定期試験	後期期末試験で実施する。
テキスト	「子どもの教育原理」　北野　幸子　編著　（建帛社）
参考図書	幼稚園教育要領解説
教員の評価方法	学習への関心・態度（２０％）、小論文（２０％）、定期試験（６０％）から総合的に評価する。
準備学習等履修上の留意点	授業後の小論文、次時の予習